

■EU：10カ国の担当大臣が排出削減目標の強化でEUに書簡を送付

欧州委員会（EC）は2050年の排出削減ビジョンの検討を行っているが、この公表に先立ち、EU加盟10カ国の環境問題担当大臣が共同で、目標強化を訴える書簡をEUに送付した。2018年11月21日のエネルギー・環境専門サイトが報じたもの。EUの長期排出削減目標は2050年に80～95%削減であるが、ECは近年の技術動向等を踏まえて、新たな長期ビジョンを議論するため、そのたたき台を公表することになっている（2018年11月28日に公表）。今回、10カ国の大臣は、世界の気温上昇を1.5℃以内に抑えるシナリオとともに純排出量（排出量と吸収量の差し引き）をゼロとするシナリオも含めることを求めている。今回書簡に署名したのはデンマーク、フィンランド、フランス、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、ポルトガル、スロベニア、スペイン、スウェーデンの10カ国である。